

会議の概要

平成 29 年度 第 8 回

おおたま学園コミュニティ・スクール委員会

兼

日時：平成30年1月16日（火）18:30～20:00
場所：大玉村農村環境改善センター2階 農事研修室

進行…事務局

1 開会の言葉 おおたま学園コミュニティ・スクール委員会副会長 後藤みづほ

2 教育長あいさつ 大玉村教育委員会教育長 佐藤吉郎

- ・平成 30 年度から教育の国の基準が変わり、小学校の授業時数が増える。また、今まで以上に地域密着型、社会に開かれた教育を重視するものとなる。CS 委員さんには教育を通してさらに住みよい大玉村、活力のある大玉村にしていくため、大玉の教育をけん引していただきたい。
- ・教育課程が変わることによる授業時数確保のための方法として 6 校時の授業時数を増やすこと、土曜授業の時数を増やすこと、また学校行事を減らすことなどが考えられる。しかし、これらの方法は子どもたちの活動が大きく制限されてしまうと同時に、スポ少などの社会教育関係が制限されるため、子どものためにはならないだろうということになった。そこで本宮市、二本松市とも話し合い、来年は夏休みを 3 日減らすということですめていることをご理解いただきたい。
- ・このことを踏まえて、今、学校の運営計画を作っていただいている。次回の C S 委員会では基本方針についてご承認いただくことになる。
- ・次に教育フォーラムについて。皆様のご意見をいただきながら準備を進めているところであるが、今現在の参加申し込みが非常に少ないので、一人でも多くの方の参加を促すため、皆様からも再度お声かけをお願いしたい。

3 会長あいさつ おおたま学園コミュニティ・スクール委員会 会長 伊藤和弥

- ・新しい年を迎え、早 16 日となりましたが、あらためて今年もよろしくお願いします。私たちの CS 委員会も数年の時を経て、自分達なりのコミュニティ・スクールを作り上げる準備は整いつつあると感じている。委員一人一人の意見が出せるような会にしていきたいと思っている。本日も活発なご意見をお願いしたい。

教育長退室

4 諸連絡 事務局

(1) 本日の日程・内容について

5 協議（座長 CS 副会長 武田伸一）

(1) 第9回教育フォーラム最終打合せ

- ② 前日・当日の運営の流れ、役割分担、参加状況、会場図、アンケート等確認

(事務局) 前回の委員会で、小グループでの話し合いは見学することも可としていいのではないかというご意見をいただいていたが、今回のフォーラムでは基本的に参加される方は全員小グループに入っていただくこととする。進行役となる CS 委員さんには、様子を見て発言を強要しないなどのご配慮をお願いしたい。

(会長) パネリストからの話題もさまざまな方面からの話になってくると思われるが、それをどのように受け止めて小グループでの話しあいにつなげていけばいいのか。

(事務局) パネリストの方々からは、事前調査として、お話の内容を伺い、第 1 部の進め方を検討しているところである。第 2 部の進め方については、参加者それぞれのお立場での考えがあるかと思う。その中で接点を探り「できること」を探していただけたらと考えている。

(2) 平成 30 年度コミュニティ・スクール委員会運営について

① 基本方針(案)説明(改善点/確認点)

- オープンスクール(おおたま学園主催の授業研究会)に、CS 委員の皆様も参加し、各校園の学校運営協議会をその当日夕方に行う。このことにより、子ども理解・学校理解のより一層の深まりとともに、それらに基づいた協議の活性化と深まりを目指す。
- 学校関係者評価を実施し、学校経営・運営の改善のサイクルが有効に機能するようにする。
- 教育フォーラムは、保護者、村民の方々が年に 1 回集い、これからの大玉の教育を語り合う場として実施する。第 10 回目の節目となる来年は、内容のさらなる充実を図り、村内外からできるだけ多くの参加者が集うよう、呼びかけ・周知を図る。
なお、内容・運営は役員会で企画したものをもとに、CS 委員会で協議することで限られた時間で協議が深まるようにする。
- 村民スポーツフェスタ(仮称)の企画・運営に参画し、ねらいの達成に寄与する。

(座長) 村民スポーツフェスタ(仮称)というのは、秋に行った「おおたま・オータム・フェスタ」と村民運動会を組み合わせたようなものということによいのか。

(事務局) 3 年に一度の村民運動会も区対抗での開催が難しくなっている。また、おおたま・オータム・フェスタと村民運動会の両方を実施することは、子どもたちの負担が大きいと考える。そこで 30 年度については一本化して実施するということで進めている。時期については 9 月頃を目処としている。企画運営については、実行委員会形式で進めていきたいが、CS 委員のお力添えもよろしくお願いいたします。

(座長) 「おおたま・オータム・フェスタ」の内容を基盤にして、より多くの村民の方が参加するというイメージでよろしいか。

(事務局) フェスタの内容の中でも、登山など会場の都合などで実施が難しいものもある。それ以外のオリエンテーリングや昔遊び、幼稚園で行ったスポーツ交流事業などを実施できればと考えている。

(会長) 30 年度は「村民スポーツフェスタ」という大きな事業が予定されているので、委員の方々のお知恵を拝借しながら進めていければと思う。

② 平成 29 年度の活動実績と平成 30 年度の計画(案)

(会長) CS 委員会自体の進め方について、一人一人から意見を引き出しやすいように、小グループに分けて、それぞれのグループが違うテーマで熟議するというスタイルをとってはどうかと思っている。事務局からの話を聞いてそれを承認して、というだけでは踏み込んだ議論ができないと思う。

(座長) 会長から皆さんでもっと話し合えるような時間を作っていったらいいのではないかというご提案があった。役員会や事務局で検討していくということによろしいか。

(委員) CS 委員会の日時について、年度当初に決めることはできないか。他の会議と日程が重ならないようにしたいと思う。

(委員) 学校が関係する事業、例えば「おおたま・オータム・フェスタ」のようなものについては、ここで協議されたものを学校側がいったん持ち帰って、学校としても協議して、よりよい実施方法を検討させていただければありがたいと思う。

(座長) 先生方にもお世話になるので、こちらの内容については、校長先生、副園長先生を通

して先生方にお伝えいただければと思う。

③ その他

○ 各校園主催の学校関係者評価について

*各校園で日時設定（1月下旬～2月中旬頃）

- ・各校園から後日日程の連絡をさせていただくので、ご出席をお願いします。

※ リーダー（委員長）の方には、次回のCS委員会時、話題になったことや学校・園の今年度達成できたことや課題等について簡単に報告願います。

○ アンケート「今年度の成果と課題」の実施について

- ・各委員が、今年度の活動を振り返ったり、次年度の活動を見据えたりする機会をもち、次回（2月）にとりまとめた反省について協議する。特に、学校関係者評価、オープンスクール、各学校主催の学校運営協議会についてはご意見をいただきたい。
- ・2月9日（金）までに、別紙用紙を事務局に提出してください。

（3）各園・各校から（学校・園の様子、月の予定、要望等）

① 大山幼稚園

- ・3学期から年長組に2名転入があった。
- ・インフルエンザは現在2名出ている。
- ・本日餅つき会があった。保護者やボランティアに来ていただき、楽しく行うことができた。ボランティアの方が、お父さんたちに餅つきのやり方を熱心に教えて下さっていた。このように地域の行事を大人同士受け継いでいく姿を子どもたちにも見せることができたので良かったと思う。
- ・子どもたちは今なわとびやけん玉に挑戦する遊びを楽しんでいる。小学2年生に生活科の授業として幼稚園に来てもらい、教えてもらう予定がある。また、教育委員会の職員にもけん玉の指導に来ていただく予定である。

② 玉井幼稚園

- ・昨日までインフルエンザで休んでいる子どもがいたが、今日からは登園している。おう吐のため欠席が1名出ている。
- ・1/11 から今日まで年長児の保護者を対象に保育自由参観を行った。一日子どもたちと一緒に幼稚園生活を体験していただき、子どもたちの成長を感じてもらうことができた。1/18からは年少児の保護者を対象に実施する。
- ・今日、12名の6年生が休み時間を利用して、幼稚園に来てなわとびを教えてくれた。幼稚園児と小学生の交流ということで、園長が企画してくれたもので明日も実施する。子どもたちは6年生のお兄さん、お姉さん達が先生ということで、とても喜んで取り組んでいた。

③ 大山小学校

- ・3学期、2名の転入生を迎え、無事スタートした。
- ・インフルエンザは現在1名出ている。
- ・子どもたちは、今、なわとびを頑張っている。
- ・教育課程については、大きなところは変わらないが、来年度と再来年度が移行期間となり、外国語の授業も入ってくる。昨年度の反省を生かしながら、各部の先生方が各グループに分かれ細かいところを検討している。

④ 玉井小学校

- ・先ほど玉井幼稚園の報告でも出た、なわとびのことについて。これは単に幼稚園児のなわとびの技術を向上させることが目的なのではなく、子どもたちの自主性を引き出すための一つの仕掛けとして実施したものである。3学期から、2校時の後の業間の休み時間を35分にして、その中で何ができるか検討し、子どもたちが自主的に活動する機会を作るために行った。こうした経験の後に、学級活動や係活動、委員会活動などについても子どもたちが自ら企画して行動できるようになるのではないかと期待している。

- ・教育課程について。本校では今年度、さまざまな「教育の刷新」に取り組んできた。来年以降も、教育的に効果が大きかったものは改善しながらさらに取り組んでいきたい。限られた時間の中、効果の大小に応じて取捨選択をし、カリキュラムマネジメントの視点で見直しをしている。
- ・学力状況調査結果をふまえ学力向上を図るため、家庭学習の習慣をつけさせるための取り組みにも力を入れていきたい。学校での取り組みと家庭学習をつながられるような取り組みをしていきたい。
- ・「大玉の子ども」という視点で、郷土のあたたかさにふれながら、地域学習を行っているが、将来的には放射線教育の必要性を感じている。大玉の郷土を学ぶことも残しつつ、「ふくしまの子ども」という視点でも教育活動を少し入れてみたいなどと思っているので、ご理解をお願いしたい。

⑤ 大玉中学校

- ・2年生 35名は、台湾大竹国民中学校との交流を終えて無事帰国した。大玉中の生徒たちは台湾の中学生の積極性と英語力に大いに刺激を受けたようである。子どもたちの成長にとって友好の翼はとてもいい機会となっている。
- ・国内交流では、茨城県美浦村の中学生との交流があり、美浦中の1年生が本校にきて交流活動を行い、スキー教室も行われる。
- ・3年生については、受験がスタートし、私立の試験では、現在のところ全員が合格通知をいただいている。
- ・教育課程について、小学校では時数が増加するという話が出ていたが、中学校では授業時数の変更はない。目指す子どもの姿に向かい身に付けさせたい資質能力を明確にして、それを学校経営運営ビジョンに反映させていきたいと思っている。教科横断型の授業を行って、全体で資質能力を高めていけたらと思っている。
- ・次年度の本校の教育のベースになるのは、本年度同様「キャリア教育」とし、それに向けて各部会で準備を進めているところである。

6 その他

(副会長) 学校からの報告をお聞きすると、家庭学習をいかにして定着させるかなど、教育フォーラムでも取り上げてみんなで考えたい課題があるなどと思った。教育フォーラムの参加者が今のところ非常に少ないというお話があったので、事務局や委員の皆さんも含めて声をかけて参加者を募っていききたいと思う。

(座長) 教育フォーラムについて、団体の代表者は案内をいただいていたが、委員の皆さんのネットワークでさらに参加者を募っていただければと思う。

7 閉会の言葉

おおたま学園コミュニティ・スクール委員会副会長 矢吹吉信



今回の委員会では、教育フォーラムについての最終確認を行いました。